

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

科目名 測量学・実習

（ 2025 年 8 月 29 日作成）

氏名 森田 実沙

No.1

（〇〇する 力がある） 内容 事実、概念、 手続き、メタ認知	想起する	理解する	応用する	分析する	評価する	創造する
	（再認、再生）	解釈、例示、分類、 推論、比較、説明	実行、遂行	比較、組織 結果と原因	チェック、判断	生み出す、計画 できる、汎化
1. 授業の進め方、測量の基礎、測量の種類（1）		建築における測量の役割を理解できる				
2. 測量の種類（2）		各測量法の特徴と使用場面を説明できる			二級建築士試験に出題される測量についての問題が解けるようになる	
3. 水準測量の機器操作		レベルを正しく設置・調整し、読みとることができる				
4. 5. 水準測量実習 6. 7.セオドライトの基礎と機器操作		セオドライトを正しく設置・調整し、読みとることができる	レベルを正しく使い、測点の高低値を求めることができる	高低差を求め、各グループと比較し、精度を調べる		必要な測点を選択し、測定することができる

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

8. 9.10.11. トラバース測量実習			セオドライトを正しく使い、敷地や建物の形状を求めることができる			測定したい敷地からセオドライトの据え付ける場所を選択し、敷地や建物の形状を求めることができる
12. 13. トラバース測量のまとめ （CAD で配置図の作成）				作成した配置図を実際の配置との誤差を分析する		測定結果から CAD で配置図を作成することができる
14. 近年の測量		従来の測量と最新技術の測量について利点や課題を説明できる。	適切な測量手法を選択できる基礎的な視点をもつことができる レベルとセオドライトを正しく設置、使用することができる			
15. まとめ	測量から図面化までの一連の流れを説明できる				二級建築士試験に出題される測量についての問題が解けるようになる	